



歯 車

笑顔いっぱいのまちをめざして

<討議資料> 3月定例会報告

平成26年3月号

鈴木としお後援会 No 18

〒018-0436

事務所：にかほ市樋目野字樋口21

Tel/fax : 37-2307

Eメール toshio-@ninus.ocn.ne.jp

すっかり春に・・・お変わりございませんか？

暑さ寒さも彼岸までとはよくいう話ですが、そのごとくすっかりと春、土手にはふきのとうが出て、日当たりのいいところでは福寿草が花を開かせています。桜のつぼみもどんどん膨らみ始めています。皆様におかれましては、如何な毎日でしょうか。

さて、3月定例会は私たちの任期の最後の定例会でした。今、定例会は平成26年度予算の審議が、中心になる予定でした。しかし、会期中に昨年行われた市長選の報復を思わせる、一連の市長の行為が朝日新聞・秋田魁新報等に掲載され、市議会は混乱？しました。

定例会の最終日の24日に、私は市長の「辞職勧告決議(案)」を提出しましたが、賛同者は1人のため賛成少数で否決され、私ら以外は「問責決議(案)」を賛成多数で可決しました。

皆様のご意見等承ることが出来れば幸甚でございます。ご意見は下記、HPからもアクセス出来ます。

URL <http://suzuki-toshio.jp>

ブログ <http://totikun.cocolog-nifty.com/blog>

今般、朝日新聞を皮切りにいくつかの新聞、また、テレビ・ラジオのニュースに取り上げられました市商工会への補助金の削減、さらには昨年の市長選で戦った相手候補の会社の指名業者外しは、市長選の報復以外、考えられないものです。

以下、私が提案した「辞職勧告決議(案)」の全文です。

<市長に対する辞職勧告決議(案)>

今回の一連の市長の行為は、先ずは「にかほ市自治基本条例第8条」に違反する行為だと思います。この8条には、「市長の役割及び責務」が記載されており、その第2項には「市長は市を統括するとともに、公正で民主的な市政運営を行い・・・」とあります。

今回の商工会に対する運営費補助金の予算計上のありかたは、これまでの審議の経緯をみれば、市長選による報復であると思いますし、公私混同した考え方だと思います。トップは批判されるのが常です。それは相手方からの提案であり、或いはトップへの期待でもあって、批判だけで捉えるのは早計でもあります。

また、指名業者外しも「誤った数字で地域に差があったと批判された」と述べていますが、出ている数字にはそれぞれ根拠があったことは、前回の全員協議会で私は述べました。

選挙戦の相手はあくまでも1個人であって、会社ではなかったはずで、「会社にも責任がある」としの会社への攻撃は弁解のできないものだと思います。

こうした一連の行為は、決して公正で民主的な市政運営ではないでしょう。

選挙は民主主義の根幹です。しかるに昨年の市長選のあとの市長の行為は、そのことを否定するようなものです。このままでは、市民が反対の立場をとったり、意見を言えない状況になります。こうしたことであっては、市民との協同のまちづくりという理念が果たして成立するのでしょうか。

今回の件で、にかほ市は前近代的なまち、時代遅れのまちとのレッテルがはられ、全国に発信されてしまいました。にかほ市を大きくイメージダウンさせたこととなります。この責任は市長が負うべきであり、「辞職」以外にありません。よってここに市長の職を辞任することを勧告します。

以上、決議します。

3月定例会・私の一般質問

☆ にかほ市の広報のあり方について

「2月号の発刊に至る経緯は」

2月号の表紙の写真が一部の方であり、しかも、記念写真的なものだ。従って、個人的な写真とも思われた。広報は、行政が市民に伝える大事な媒体だけに偏ってはいけない、その意味があり質問した。

回答 広報は公共性・公平性をもって発行している。写真の場合、個人から許可を得なければならず、今回も実行委員会の方々から協力頂いた。当日は雨だったので内部での撮影となった。

「広報モニターの意見は」と「今後の広報のあり方」の小項目の質問は割愛します。

☆ 閉校後の小出小学校の利活用について

「地域や住民からの意見は」

地域から学校が無くなれば、地域も衰退していく。早めに利活用を示すべきではないか。廃校を利活用して交流人口を増加させているところもある。地域の元気度はこの活用にかかっている。地域からも活用について意見を聞くべきではないか。市の対応を伺うとともに、どのような利活用を考えているのか伺う。

回答 スポ少からは、体育館を利用したいという声があるようだ。今後、地域の声を聞いて検討したい。ただし、当市は県内では経常経費が高くなっており、公共施設計画に基づき考えていきたい。

私の方からは、具体的には「老人施設にする」「郵便局の誘致」「診療所の移転」「地域のシビックセンター的な活用」等の具体案を提案した。

平成26年度 一般会計当初予算は

昨年度より約8千万増の133億5,200万円

主なものの予算額

- ・ゴミ焼却施設・・・設計や建設工事費として・・・4億3,400万円
入札で大阪エスエヌ環境テクノロジーが落札、約35億4,200万円
工期は16年7月末まで、8月には稼動予定
- ・高規格救急車更新・・・3,000万円
- ・平沢小出2号線（歩道）測量設計・・・歩道の拡幅改善等・・・2,100万円
- ・白雪橋（芹田～三森）補修工事・・・通行止めして行う・・・8,700万円
- ・室沢地区排水整備設計・工事・・・排水の改良・・・3,650万円
- ・スクールバス購入とバス停整備・・・小出小閉校に伴うもの他・・・2,460万円
- ・いちじく産地化支援・・・苗木の補助等・・・286万円
- ・ねむの丘改修・・・1,242万円
- ・はまなす改修工事・・・1,070万円
- ・前川象潟2号線他・・・用地測量業務委託・・・9,100万円
この道路の件では、必要性を認めながらも、作業着手にあたっては凍結を含めて見直しをするべきとの付帯意見を産業建設委員会では付した。
- ・TDK秋田総合スポーツセンター改修設計委託料・・・300万円
TDKから無償譲渡を受け、今後は7,000万円の工事費を見込み、クラブハウスを改修して、合宿誘致などを目指す。

その他、提案された議案等

にかほ市で「むつみ工業の第2工場、付属工場」を6,400万円で取得する。
市の産業支援センターとして、誘致企業に貸出す。

市の組織再編

総務部、財務部（財政課と税務課を統合しての新設）、農林水産建設部（産業建設部を分ける）、商工観光部の4部体制とする。